令 和 ６ 年 度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書

（令和５年度事業分）

常陸大宮市教育委員会

目　　次

１　点検評価の概要

（１）趣旨 ･･･ １
（２）点検及び評価の対象 ･････････････････････････････ １
（３）点検及び評価の方法 ･････････････････････････････ １
（４）令和５年度に教育委員会が実施した主な事業の点検及び
　　評価結果 ･････････････････････････････････････ ２

２　教育委員会の活動状況

（１）教育委員の選任状況 ･････････････････････････････ ３
（２）教育委員会会議の開催状況 ･･････････････････････ ３
（３）会議及び研修会等への参加状況 ･･････････････････ ４
（４）総合教育会議の開催状況 ･････････････････････････ ４
（５）その他 ･･･ ４

３　個別事業（令和５年度事業）の点検評価結果 ･･････････ ５

（１）学校教育活動指導員配置事業 ･･････････････････････ ６
（２）ひたまる読書活動推進事業 ･････････････････････････ ７
（３）花いっぱい運動推進事業 ･･･････････････････････････ ８
（４）ブックスタート事業 ･････････････････････････････ ９
（５）スポーツ教室等開催事業 ･････････････････････････ 10
（６）市史編さん事業 ･････････････････････････････････ 11

４　常陸大宮市教育行政点検評価委員の総合的所見 ･････････ 12

１　点検評価の概要

（１）趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第２６条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この度、本市教育委員会では、令和５年度の教育委員会活動状況及び実施した事業について、教育に関し学識経験を有する外部委員の意見を徴し、点検及び評価を実施いたしましたので、本報告書のとおり公表いたします。

（２）点検及び評価の対象

点検評価の対象事業は、第２次常陸大宮市教育振興基本計画（令和５年度～令和１４年度）の基本施策として実施する事業、常陸大宮市総合計画（実施計画）における令和５年度重点事業及びその他点検評価が必要と認める事業から６事業を選定いたしました。

（３）点検及び評価の方法

教育委員会が令和５年度に実施した事務事業を「教育委員会の活動」、「教育委員会が行った事業（点検評価対象６事業）」の二つに大別し、点検評価内容の客観性を確保するため、常陸大宮市教育行政点検評価委員規程（平成２１年教育委員会訓令第１１号）に基づき委嘱した外部委員から事業の点検評価を受け、事業評価に対する意見を求めるとともに、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する所見を求めました。

①　委員会開催日

第１回　令和６年９月２６日（木）
　　行政点検評価対象事業の説明及び事業の選定

第２回　令和６年１０月３０日（水）
　　対象事業の点検評価実施、委員の意見集約

② 教育行政点検評価委員（順不同）

・鹿島　優　　氏（元茨城県教職員）

・池内　耕作　氏（茨城キリスト教大学副学長・教授）

・佐藤　隆　　氏（茨城女子短期大学こども学科長・教授）

（４）令和５年度に教育委員会が実施した主な事業の点検及び評価結果

内部評価	委員による点検評価

【①事業執行状況】

	事業数	比率(%)
Ａ必要性・効果が高い	4	66.7
Ｂ必要性・効果がある	2	33.3
Ｃ必要性・効果がない	―	―

【②今後の方針】

	事業数	比率(%)
廃止・休止	―	―
縮小	―	―
見直し	―	―
現行どおり	5	83.3
拡充	1	16.7

【評価結果】

	事業数	比率(%)
廃止・休止	―	―
縮小	―	―
見直し	―	―
現行どおり	5	83.3
拡充	1	16.7

※参考：評価結果の考え方

廃止・休止	事業を実施する必要がなくなったもの 別の事業に置き換えていけるもの 事業が終了したもの
縮小	事業内容の見直しを行い縮小が必要なもの
見直し	事業内容の見直しが必要なもの
現行どおり	現状の予算等で事業効果が得られるもの
拡充	事業費を増やすことで事業効果が高まるもの

２　教育委員会の活動状況

（１）教育委員の選任状況

職	氏　　名	任　　期
教　育　長	小 野　　司 寿 男	R4.4.1　～ R7.3.31
委　　員	生 天 目　　茂	H28.4.1　～ R2.3.31 R2.4.1　～ R6.3.31 （教育長職務代理者） （ R4.10.25　～ R5.10.24　）
委　　員	槁　本　勇　夫	R1.12.25　～ R5.12.24 R5.12.25　～ R9.12.24
委　　員	宮 本　　亜 希 子	R3. 2. 23　～ R7. 2.22 （教育長職務代理者） （ R5.10.25　～　　）
委　　員	宮 田　　則 子	R3.10. 20　～ R7. 10.19

（２）教育委員会会議の開催状況

月　　日	区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
R　5年　4月25日	定例会	5	—	3	—
5月25日	定例会	4	—	2	—
6月26日	定例会	2	—	3	—
7月25日	定例会	2	1	3	—
8月25日	定例会	2	1	2	—
9月25日	定例会	3	—	3	—
10月25日	定例会	2	—	2	—
11月27日	定例会	1	1	2	—
12月25日	定例会	2	—	3	—
R　6年　1月25日	定例会	4	1	2	—
2月26日	定例会	2	1	3	—
3月14日	臨時会	1	—	—	—
3月25日	定例会	7	—	3	—
合　　計					
定例会（１２回）		３６	5	３１	—
臨時会（　１回）		1	—	—	—

（３）会議及び研修会等への参加状況

・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会
・市町村教育委員会教育長会議
・管内市町村教育委員会教育長等会議
・市町村教育長協議会夏期研修会

（４）総合教育会議の開催状況

会議日	件　　名	参加者
R6 年 1 月 25 日	学力向上にコミットする教育の推進について	教育長 教育委員

（５）その他

・学校管理訪問（小学校 11 校、中学校 4 校）（参加者：教育長）

月　　日	訪　　問　　先
R5年5月30日	第二中学校
6月 5日	大宮西小学校、大賀小学校
6月15日	御前山小学校、明峰中学校
7月 6日	大宮北小学校、山方南小学校
9月12日	上野小学校、村田小学校
9月22日	大宮中学校、山方中学校
10月17日	緒川小学校、美和小学校
10月23日	大宮小学校、山方小学校

・幼稚園卒園式（参加者：教育長）
・各小中学校卒業式（参加者：教育長、教育委員）
・幼稚園・各小学校運動会、各中学校体育祭(参加者：教育長、教育委員)
・常陸大宮市賀詞交歓会（参加者：教育長、教育委員）
・はたちのつどい（参加者：教育長）
・常陸大宮市教育振興大会（参加者：教育長、教育委員）
・教育委員会事務局職員辞令交付式（参加者：教育長）
・教職員辞令交付式（参加者：教育長、教育委員）
・教職員人事異動辞令交付式（参加者：教育長、教育委員）

３　個別事業（令和５年度事業）の点検評価結果

番号	事　業　名	所管部署	内部評価	点検評価
1	学校教育活動指導員配置事業	学校教育課	現行どおり	現行どおり
2	ひたまる読書活動推進事業	学校教育課	現行どおり	現行どおり
3	花いっぱい運動推進事業	生涯学習課	拡充	拡充
4	ブックスタート事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
5	スポーツ教室等開催事業	文化スポーツ課	現行どおり	現行どおり
6	市史編さん事業	文化スポーツ課	現行どおり	現行どおり

令和6年度教育行政（個別事業）点検評価結果報告書

<table>
<tr><td>事業番号</td><td>1</td><td>部課局名</td><td>学校教育課</td><td>事務事業対象年度</td><td>令和5年度</td></tr>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="5">学校教育活動指導員配置事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="5">学校に非常勤講師を配置し、ティーム・ティーチング（複数の教員による学習指導）による学習指導方法を授業に取り入れ、各学校において児童生徒への個に応じたきめ細やかな学習指導を実施することにより児童生徒の学力向上等を図る。</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="5">TT非常勤講師（会計年度任用職員）の募集
講師雇用関係事務
・雇用期間　4月1日から3月31日
・報酬　　1時間あたり　1,750円
・勤務時間　年間　1,015時間以内（週29時間）
配置校：全小中学校

【事業費　33,615千円】</td></tr>
<tr><td rowspan="4">内部評価結果（総合評価）</td><td colspan="5">① 事業執行状況（Ⅲ）の評価結果</td></tr>
<tr><td colspan="5">◉必要性・効果が高い　○必要性・効果がある　○必要性・効果がない</td></tr>
<tr><td colspan="5">② 今後の方針</td></tr>
<tr><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点検評価委員による評価結果</td><td>点検評価結果</td><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td>点検評価結果理由</td><td colspan="5">【A委員：現行どおり】
個に応じたきめ細かな学習指導の展開にはティーム・ティーチングは有効です。TT非常勤講師の配置により児童生徒の学力向上に効果を上げているので、今後も継続の必要な事業であると思います。

【B委員：現行どおり】
一斉指導では個々の学習の取りこぼしが起こるのが常ですが、近年、ますますその頻度は増していると感じます。TTはとても有効で、行政がサポートすべきもののなかでは、主たる指導者にとって大変心強いもののひとつなので、今後とも継続し充実させるべきと思います。

【C委員：現行どおり】
個に応じたきめ細かい学習指導を行い、学力向上を目指すために大変重要な事業である。授業時だけでなく、教材研究、授業準備、評価等において複数で対応することにより、より質の高い授業を行うことができるようになる。生徒指導面でも効果が大きいと推察する。中学校では理科や体育の授業においてTTを行っているという説明を受けた。理科は予備実験、実験準備、実験の片付け等が必要なので複数教員で担当することにより、専任教員の負担軽減になる。さらに、理科の実験や体育の実技において、児童生徒の安全確保に効果もある。期待したとおりの成果が上がっているということなので、本事業の推進には大きな意義があると考える。</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="5">【A委員】
TT非常勤講師の配置にあたっては学校の要望等を検討することが大切であると思います。そして、TT非常勤講師の指導力向上を目指した研修会の充実に努めるとともに、各学校においては少人数指導加配等の加配職員を含めたティーム・ティーチングのより効果的な展開を研究し、児童生徒の一層の学力向上が図られることを期待します。

【B委員】
活動指標とは、「行政／学校がやること」（手段）の進捗／達成度を測る指標です。100%を達成できなかったのであれば、予算を組んでやると宣言したことをやらなかったということになり、杓子定規に言えば不履行責任が生じます。今回も「18人を配置する」という目標に対して17人、すなわち1名を配置できなかったということなので、やはりその理由を評価書上であらかじめ明記すべき責任があると思いますが、どこにも書かれておりません（適任者が見つからなかったということだろうとはヒヤリングで承知しております）。17/18 (94%)を達成したから良好という類の指標ではありませんので、100%にならなかった場合はその理由を今後、どの事業でも書いていただきたいと思います。
一方、成果指標のほうは、どれほどがんばっても100%になることは極めて稀と言い切って良い指標です。100%にならなかったからただちに責任問題に発展するような指標ではありません。例えば「児童・生徒がより確かな学力を身につける（学力テストで全国平均以上の数値にする）」といった目標をたてます。その成果を出すため、活動量指標としては例えば「TTを充実させる」という手段を設定します。しかし今回の場合、どちらも「18人を配置する」との活動指標になってしまっています。TTを配置することで何が子供達にもたらされるのか（アウトカムしてくるのか）が不明ですので検討願います。

【C委員】
講師の採用について非公募であると説明を受けた。経験豊富で指導力のある人材を選んで採用することは目的に沿って効果的であるが、意欲のある若い人材がいれば採用の幅を広げることは、学校の活性化に有効である。学校としては、教員が一人でも多いと大変助かる。教科の授業のTTだけでなく、教員の休みや出張時の填補、行事の補助、特別な配慮を要する児童生徒の対応等、幅広く活用できると良い。</td></tr>
</table>

令和6年度教育行政（個別事業）点検評価結果報告書

<table>
<tr><td colspan="2">事　業　番　号</td><td>2</td><td>部課
局名</td><td>学校教育課</td><td>事務事業
対象年度</td><td>令和5年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務事業名</td><td colspan="5">ひたまる読書活動推進事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の目的</td><td colspan="5">学習環境（学校図書館）を整備し、児童生徒がより一層本に親しむ機会をつくるとともに、読書の習慣化を図る。また、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな感性や表現力等の育成を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の概要</td><td colspan="5">①学校図書館専任職員の配置　5名
②研修会の実施
③ポップコンテストの開催

【事業費　3,017千円】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">内部評価結果
（総合評価）</td><td colspan="5">①　事業執行状況（Ⅲ）の評価結果</td></tr>
<tr><td colspan="5">◉必要性・効果が高い　○必要性・効果がある　○必要性・効果がない</td></tr>
<tr><td colspan="5">②　今後の方針</td></tr>
<tr><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点検評価委員による評価結果</td><td>点検評価結果</td><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td>点検評価結果理由</td><td colspan="5">【A委員：現行どおり】
児童生徒の活字離れが進む中、本に親しむ機会をつくることは大切であると思います。さらには、本事業をきっかけに、家庭での読書活動の広がりや読書習慣の定着にもつながると思います。今後も本事業の継続は必要であると考えます。

【B委員：現行どおり】
職員配置、研修会実施、ポップコンテスト開催、いずれも読書の動機づけにとって良い試みであると評価します。

【C委員：現行どおり】
子ども達の生活においてもスマホ使用が日常化し、学校教育においてもタブレット等ICT活用が増えている。子ども達の活字離れがますます進み、読解力や作文力の低下が懸念されている状況である。読書活動を推進することは大変意義がある。ぜひ、本事業を推進していただきたい。</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="5">【A委員】
図書館専任職員の配置により、学校図書室の整備が図られています。今後も図書館専任職員と教職員（図書主任）が連携を図り、学校図書室の充実に努めてほしいと思います。また、各学校において行われているポップコンテストにより、児童生徒が楽しみながら本の紹介を行い、図書室に足を運んでいる様子が想像できます。今後も夢のある場所として学校図書室が一層活用されることを期待します。

【B委員】
「読書の習慣化を図る」という事業目的に対し、「読書感想文の提出数」という成果指標はよくマッチしていると思いますが、読書習慣のある子供が必ずしも感想文を提出するのか、という見方も可能です。常陸大宮市の児童・生徒の読書習慣の実態がどういうもので、この事業によって何をどう変えたいのか、という順番で発想すべきです。直接的で手っ取り早いのは、読書傾向を定期的にアンケート調査することでしょうか。例えばOECDでは、PISAをやる際に「週に何冊の本を読みますか」と受験者（世界中の15歳）に尋ね、短文（漫画など）と長文（小説や論説文など）に分けて結果を公表しています。その結果、日本の子供は「長文離れが著しい」ことが明らかとなり、全国で朝読書などが一斉に始まったというのが経緯です。本事業の継続が適切なのかどうかを判断するには、常陸大宮市の児童・生徒の読書傾向がどうなのか、その実態をまず知る必要があると思います。（学テが県平均以下との記述がありますが、国語のことならばより詳しく検討すべきデータとも思います。）

【C委員】
学校図書館専任職員は、3校ずつかけ持ちで、各学校週1日の勤務であると説明を受けた。各学校の図書館教育担当教員等との連携が重要である。各学校は専任職員の助言を受けながらも、専任職員に頼り切らず、主体的に活動を推進していくことが望まれる。各学校では、国語科の授業や委員会活動、朝の読書活動等の一層充実させることを、並行して目指していただきたい。専任職員は、学校図書館の事務作業の一部を担うことにより、日頃多忙な各学校の教員の負担軽減に寄与する効果もあると考えるが、可能であれば専任職員には図書館司書資格を持つ人材を登用し、専門的な立場で各学校の教員の指導や支援を行うことにより、図書館教育の質の向上が図られることを期待したい。さらに、各学校の図書を充実させるために、専任職員には、市立図書館との連携強化のパイプ役を果たすことも期待したい。事業の評価に当たっては、読書感想文やポップコンテストの出品数だけでなく、図書室への来室数、図書の貸出数、読んだ図書の冊数等を含めることも検討していただきたい。「表現力や考える力」の向上を確かめる指標も必要であると考える。</td></tr>
</table>

令和6年度教育行政（個別事業）点検評価結果報告書

<table>
<tr><td colspan="2">事　業　番　号</td><td>3</td><td>部課
局名</td><td>生涯学習課</td><td>事務事業
対象年度</td><td>令和5年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務事業名</td><td colspan="5">花いっぱい運動推進事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の目的</td><td colspan="5">花壇づくりをとおして、地域の環境美化に努めると共に、地域住民が協力し花や緑を育てることによって、地域コミュニティの活性化と市民の生きがいづくりを図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の概要</td><td colspan="5">植栽に要する花の種、苗、肥料等の購入費相当額として、各団体が管理している花壇の面積に応じ謝礼金を支給する。

【事業費　1,140千円】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">内部評価結果
（総合評価）</td><td colspan="5">①　事業執行状況（Ⅲ）の評価結果</td></tr>
<tr><td colspan="5">◉必要性・効果が高い　○必要性・効果がある　○必要性・効果がない</td></tr>
<tr><td colspan="5">②　今後の方針</td></tr>
<tr><td colspan="5">◉ 拡充　○ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点検評価委員による評価結果</td><td>点検評価結果</td><td colspan="5">◉ 拡充　○ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td>点検評価結果理由</td><td colspan="5">【A委員：拡充】
市内のいたるところにある花壇は、そこを通る人々に安らぎを与えています。また、その花壇作りに携わっている方々も生き生きしており、やりがいをもって活動しています。地域の環境美化と地域コミュニティの活性化が図られるなど、地域を応援する事業として大切であり、本事業を拡充していく必要があると考えます。

【B委員：拡充】
対象となる（対象としたい）団体があとどのくらいあるのかをヒヤリングしたところ、事業費（特に謝礼金）の伸び幅は十分あると判断できました。

【C委員：拡充】
ほぼ目標値に近い実績があり、本事業による花壇づくりが市民の生きがい、喜びとなっている成果が認められているのであれば、本事業は意義があると考える。</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="5">【A委員】
事業の対象にプランターを加えたことはとてもよいと思います。花壇がなくても本事業に参加できるので、参加する団体も増えると思います。今後も参加団体からの感想や意見を聞いたり、環境美化への取り組みを賞賛したりしていくことが、事業の拡充には大切であると思います。さらには、一般の方々からの花壇に対する感想を聞き、広報紙等で紹介していくことも参加団体の活動意欲の向上につながると思います。

【B委員】
「地域住民が協力し花や緑を育てる」ことで「地域コミュニティの活性化と市民の生きがいづくりを図る」という建て付けとなっており、前者が後者の手段とも言えますし、前者そのものが立派な目的とも考えられますが、概念的には、「参加団体数」を成果指標としたまま、活動量のほうはもう少し別の視点で設定すべきではないかと思います。つまり、団体数を増やすために「行政が何をやるのか」です。例えば、説明会や地域巡回など「広報」の活動量を指標にすることが考えられます。少なくとも、「行政が参加団体数を増やす」というのは活動指標としては抽象的で、何をやるのかが不明です。「手段」の欄で「謝礼金を支給する」となっていますが、もしこれだけしかやらない事業なのであれば、活動量指標としては「謝礼金の支給額」を引き合いにするしかないと思います。

【C委員】
本事業についての広報活動をさらに活発に行うことにより、申請団体を増加できる可能性があるのではないか。また、申請者に高齢者が多いのであれば、申請方法や手続きを簡略化することも必要であろう。評価の指標として、申請団体数のみでなく地域コミュニティの加入人数、緑化活動（花壇作り）への参加者数等を調査することを検討してもよいと考える。</td></tr>
</table>

令和6年度教育行政（個別事業）点検評価結果報告書

<table>
<tr><td colspan="2">事　業　番　号</td><td>4</td><td>部課
局名</td><td>生涯学習課</td><td>事務事業
対象年度</td><td>令和5年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務事業名</td><td colspan="5">ブックスタート事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の目的</td><td colspan="5">乳児期から絵本に親しんでもらうことで、親子のふれあいを深めて、読書の環境づくりを推進する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の概要</td><td colspan="5">生後9か月の乳児相談で、ブックスタートパック（絵本・アドバイスブック・布製バッグ）を手渡しで配付する。その際、ブックスタートボランティアが一人一人に、親子で本を読む時間を共有することの大切さを伝える。

【事業費　297千円】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">内部評価結果
（総合評価）</td><td colspan="5">①　事業執行状況（Ⅲ）の評価結果</td></tr>
<tr><td colspan="5">◉必要性・効果が高い　○必要性・効果がある　○必要性・効果がない</td></tr>
<tr><td colspan="5">②　今後の方針</td></tr>
<tr><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点検評価委員による評価結果</td><td>点検評価結果</td><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td>点検評価結果理由</td><td colspan="5">【A委員：現行どおり】
乳児期から絵本に親しむことは、子どもの豊かな心を育むことにつながります。また、本事業は親子のふれあいを深める子育てにも大きな役割を果たしています。本事業の現行どおりの継続が望ましいと考えます。

【B委員：現行どおり】
目標には届いていないものの、その理由が予算の不足とは直接的には考えられないため、現行どおりの事業費にて次年度100%を達成すべくご尽力いただきたいと思います。

【C委員：現行どおり】
読み聞かせは子どもだけでなく親にも大きな効果がある。育児に悩む親も多い中で、親子の絆を深めるために、本事業は大変有意義であると考える。ぜひ推進していただきたい。</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="5">【A委員】
ブックスタートをきっかけに育った絵本に親しむ習慣をさらに充実していくために、ボランティア等の協力による本の紹介を継続的に行ったり、ブックスタートパックの活用状況をアンケート等で把握したりしておくことが大切であると思います。本事業が子どもの将来にわたる読書活動の基盤作りの一環となることを期待します。

【B委員】
ブックスタート12回の「活動量」を事前に宣言し、宣言した通りに100%実施した結果、目標人数に8名ほど届かなかった、という説明に、まず頭が下がる思いと納得感があります。その上で、本来はスタートパックを届けたかったが届けることができなかったという世帯が実際にどれくらいあり、もっと言えばそれは誰なのか（なになに一家なのか）をどこまで捕捉できるのかが鍵だと思いました。追いかけ回す必要はないかも知れませんが、乳児相談を欠席された方にも後日手渡すといったフォローまではきちんとできていることから、住民台帳との照らし合わせ（もっと言えば乳児相談にそもそもエントリーしていない世帯）の把握が残されたアウトリーチ先なのだろうと思います。しかしそのアウトリーチを嫌う人は基本的にはいないと思いますので、可能であればご検討いただきたいです。

【C委員】
大変充実した内容のスタートパックであると見受けられた。市立図書館のwebページにブックスタートが紹介されているのも良い。ブックスタートパックの配付時のみでなく、継続して図書館利用や読み聞かせ会の案内を行っていただきたい。市内に書店が多くないので、親子で読める絵本を身近に手に取ることができるように、市立図書館や市内各町内の公民館（市民センター）等の読書コーナーの充実を図るなど、対策を考えていただきたい。</td></tr>
</table>

令和6年度教育行政（個別事業）点検評価結果報告書

<table>
<tr><td>事業番号</td><td>5</td><td>部課局名</td><td>文化スポーツ課</td><td>事務事業対象年度</td><td>令和5年度</td></tr>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="5">スポーツ教室等開催事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="5">スポーツ推進計画に基づき、健康や体力づくりを推進するため、スポーツに親しむ機会が少ない方々に対しスポーツ教室や体験会を開催することで、スポーツの普及や健康増進を図る。</td></tr>
<tr><td>事業の概要</td><td colspan="5">市民を対象に、年間を通して各種スポーツ教室を開催する。
【直営】
・スナッグゴルフ大会事前練習会（計2回）
・ボール遊び体験教室（計4回）
・かけっこ運動教室（計4回）
・陸上記録会
・スナッグゴルフマスター教室（計2回）
・第11回常陸大宮市スナッグゴルフ大会
・スケート教室
・スキー教室
・オリンピアン交流体験会
【委託】
・スクエアステップ体験教室（計6回）
・障害者フライングディスク体験教室（計7回）
・陰陽ヨガと薬膳教室（計8回）
・キックボクシングダイエット体験教室（計7回）
・ユニカール体験教室（計11回）
【事業費　4,089千円】</td></tr>
<tr><td rowspan="4">内部評価結果（総合評価）</td><td colspan="5">① 事業執行状況（Ⅲ）の評価結果</td></tr>
<tr><td colspan="5">○必要性・効果が高い　◉必要性・効果がある　○必要性・効果がない</td></tr>
<tr><td colspan="5">② 今後の方針</td></tr>
<tr><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点検評価委員による評価結果</td><td>点検評価結果</td><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td>点検評価結果理由</td><td colspan="5">【A委員：現行どおり】
様々なスポーツに出会える機会を市民に提供しており、市民の健康増進や体力の向上につながっている事業であると思います。こんなスポーツをやってみたいという市民のニーズを大切に、今後も継続してほしい事業であると考えます。

【B委員：現行どおり】
予算額が順次増加していますが、延べ参加者数もほぼ目標を達成しています。スポーツの普及と健康増進は市民全体の共通利益としてもっともわかりやすい事柄であり、現行通りの規模で遂行可能なのであれば、次年度もぜひ継続いただきたいです。

【C委員：現行どおり】
ほぼ目標値どおりに非常に多くの参加者がある事業であるので、市民にとって必要感が高い有意義な事業であると考える。ぜひ、今後も推進していただきたい。</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="5">【A委員】
各スポーツ教室の延べ参加者数が999人で、成果指標の達成度が100％であり、市民のスポーツへの関心の高さが伺えます。今後は、スポーツ教室参加者の満足度を把握することが大切になると思います。アンケート調査を活用して満足度や感想を把握し、各スポーツ教室の充実に活かしてほしいと思います。また、スポーツ教室が参加者のスポーツに取り組むきっかけになっているかどうかといった追跡調査を行うこともスポーツの普及につながると思います。

【B委員】
スポーツ教室の開催数を増やすことで、参加者数を増やすという設定の事業になっていますが、この2つの数字が比例関係から外れてきたときにどうするかというのが次の課題かと思います。つまりは回数を増やしても参加人数が増えないという場合です。一方、例えば教室を開催するかどうかに最少催行人数（例えば申込が5名未満であれば開催しない）が設定されるとすれば、「開催数」は「延べ参加者数」とほぼ同じ意味となり、成果指標になります。いずれにしても、行政の活動量指標が「開催数」だけで良いかということです。例えば種目を増やす、指導者を増やす、広報媒体の数や量を増やす、といったことも指標として考えられるのではないでしょうか。

【C委員】
種目が多彩であり、気軽に取り組めそうな競技もあり、興味・関心をもちやすく参加意欲を高めていると考える。参加費も傷害保険料程度なので、「お得感」も高いのではないか。参加者数を延べ人数だけでなく、実参加者数を調べ、より多くの市民が参加できるよう裾野を広げる工夫をしていただきたい。</td></tr>
</table>

令和6年度教育行政（個別事業）点検評価結果報告書

<table>
<tr><td colspan="2">事　業　番　号</td><td>6</td><td>部課局名</td><td>文化スポーツ課</td><td>事務事業対象年度</td><td>令和5年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">事務事業名</td><td colspan="5">市史編さん事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の目的</td><td colspan="5">本事業は、市内全地域を様々な角度から再発見・再評価しようとする事業であり、その刊行物は、市民のふるさとへの愛着と誇りを育み、内外の交流をもたらして一層の市の一体化を推進する、新しい「まちづくり」に資する地域資源の基礎資料であるとともに、未来の市民への歴史的資産となることを目指す。（「常陸大宮市史編さん基本方針について」より）</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の概要</td><td colspan="5">令和5年度取組内容
①書籍刊行
・『常陸大宮市史　資料編3　近世Ⅰ』1,000部・『常陸大宮市史資料叢書2　近現代1　描かれた常陸大宮の暮らし　－会沢忠の記憶画にみる明治・大正・昭和－』600部・企画展図録『佐竹一族と中世の常陸大宮』800部
②教育普及事業
・常陸大宮市史講演会　シンポジウム「部垂の乱を考える」　・ヒストリーツアー「部垂の乱を歩く」・常陸大宮市史セミナー「『資料編2　古代・中世』を読む」全3回　・企画展『佐竹一族と中世の常陸大宮』・現地で常陸大宮市史全2回

【事業費　23,874千円】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">内部評価結果（総合評価）</td><td colspan="5">①　事業執行状況（Ⅲ）の評価結果</td></tr>
<tr><td colspan="5">○必要性・効果が高い　◉必要性・効果がある　○必要性・効果がない</td></tr>
<tr><td colspan="5">②　今後の方針</td></tr>
<tr><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点検評価委員による評価結果</td><td>点検評価結果</td><td colspan="5">○ 拡充　◉ 現行どおり　○ 見直し　○ 縮小　○ 廃止・休止</td></tr>
<tr><td>点検評価結果理由</td><td colspan="5">【A委員：現行どおり】
町村合併から20周年を迎えるこの時期に、市史編さんは地域資源の再発見・再評価として大いに意義があり、市民のふるさとへの愛着と誇りを育むのに大切な事業であると思います。また、市史に関連する書籍も計画的に刊行されており、歴史的文化遺産を後世に継承していると思います。

【B委員：現行どおり】
本来、商業的にマネタイズできなくとも税金で実施して良い（税金でやるほかない）事業であると思いますが、「有償頒布部数」を成果指標として掲げていることに自信と熱意が感じられます。この目標が達成されるなら（きちんと価値が評価され、買い手がたくさん現れ、ちゃんと売り上げが出るのなら）、これほど素晴らしいことはないと思います。

【C委員：現行どおり】
市の歴史や文化を後世に引き継ぐことは大変重要で必要不可欠な事業である。この事業による貴重な資料は、市の枠を超えて、県や国の研究に貢献することも多いと思われる。有償頒布数が目標を大きく上回っていることは、市内外から大きな期待が寄せられている証であろう。今後も着実に継続して推進していただきたい。</td></tr>
<tr><td>主な意見</td><td colspan="5">【A委員】
事業の認知度を高めるために、市史編さんについての広報活動を充実することが大切であると思います。市史編さんについての市民の声を聞き、それを広報紙等で取り上げて応えていくのも一つの方法であると思います。また、市史に関わる講演会・セミナー・企画展等の教育普及事業を計画的に実施していますので、参加者の感想や意見を広報紙で紹介するのもよいと思います。

【B委員】
刊行されたものを拝見しましたが素晴らしいです。批判を恐れずに書けば、すべての市区町村でこれだけの税金を投入すべき「宝（資産）」があるとは思っておりませんが、常陸大宮市の場合は確かにこういうかたちで、しっかりと次代に引き継ぐべき宝がふんだんにあることが、拝見してよくわかりました。

【C委員】
子ども達や一般の初心者向けに、研究や調査の内容をわかりやすく伝える機会を設けていただきたい。</td></tr>
</table>

令和６年度常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（令和５年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員　鹿島　　優

１　教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況について、活動内容が計画的であり、適正かつ正確に執行されていると評価いたします。

２　教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理・執行する事務について、事務の効率化と質の向上に努めながら適正かつ正確に執行されていると評価します。

３　教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について、適正かつ正確に執行されていると評価します。

令和６年度常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（令和５年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員　池内　耕作

１　教育委員会の活動状況

適正に進められていると評価いたします。

２　教育委員会が管理・執行する事務

適正に進められていると評価いたします。

３　教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

適正に進められていると評価いたします。

令和６年度常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果（令和５年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員　佐藤　　隆

１　教育委員会の活動状況

教育委員会の活動について、適正に進められていると評価いたします。

２　教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理・執行する事務について、適正に進められていると評価いたします。

３　教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について、適正に執行されていると評価いたします。